CS(コミュニティ・スクール)便り 第5号

2009年11月18日発行　井草中学校CS広報部会

秋の深まりが感じられるようになりました。今年は新型インフルエンザの流行が学校や地域の行事に影を落としています。今回は夏休みに行われました教職員・ＰＴＡ役員とＣＳ委員の交流研修会、コミ担の活動についてご報告します。

ＣＳ　活動報告

- ○ 学校運営協議会 (4/17、5/27、6/17、7/24、8/28、9/16、10/14)
  (議事録は井草中学校ホームページでご覧になれます)
- ○ ２年生キャリア教育授業ゲストティーチャー参加 (6/20)
- ○ 教職員との交流研修会 (7/24)
- ○ ＣＳ推進フォーラム参加 (8/3、徳島)
- ○ 教職員、PTA役員との交流研修会 (8/28)

８月２８日　教職員・ＰＴＡ役員とＣＳ委員の交流研修会報告

今年で２年目となるこの研修会、例年通り研修に先立ち、教職員・ＰＴＡ役員・ＣＳ委員が集まり、バーベキュー昼食会を行いました。会話も弾んできたところで、５班に分かれてテーマに沿って検討し、発表を行いました。今年のテーマ・発表内容の最優秀賞は、以下のとおりです。

テーマ：井草中の教育目標「自主自律、豊かな心」を持った生徒の具体的な行動とはどのようなものか？　最優秀賞「①他己中心的、②流されない、③一人旅ができる　生徒」

作品の優劣は、内容だけでなく、プレゼン資料や若手の先生方による説明の優劣も問われます。最優秀作品は、イラストを多用した資料と発表者の簡潔な説明が高評価でした。

研修会を通じて、教職員・ＰＴＡ役員・ＣＳ委員の相互理解が深まり、今後の地域に密着した学校づくりに役立つ研修会となりました。

チームによる検討

発表の模様

最優秀チーム

リレーエッセイ　―井草中探訪―第５回―　熊野隆喜

私が井草中学校に関わりを持ち始めたのは平成16年の２月からです。私が所属している東京城西ロータリークラブが地域への貢献活動として『杉並区小・中学生の課外授業』という活動を始めました。井草中学校での最初の活動は『社会体験学習』の事前授業『職業について』と『社会でのマナー』について、２年生の皆さんに数名のロータリー会員が二日に亘り話をし、生徒さんが一人ひとり挨拶が出来るように実地練習を行いました。それ以来毎年同様のテーマあるいはその他のテーマで生徒さんの学習のお手伝いしてきています。この三年間は卒業を前に控えた３年生に対して『これからの人生をいかに生きるか』というテーマで話し合いをしています。３年生も卒業をまえにすると、３年間の成長ブリが著しく、これからの益々の成長と活躍が楽しみに思われます。

東京城西ロータリークラブのこの活動は杉並区の小学校･中学校からの要望を受けて杉並区教育コーディネーター（現在は地域コーディネーター)の皆さんがつないで下さっています。井草中学校だけではなく、いろいろな小学校・中学校でも同様な活動を続けて来ていますが、井草中学校が最も熱心で、私達も感動を受けています。

井草中学校は年々進化しています。私達のこの活動のやり方についても先生たちから新しい提案がなされるところがすばらしいと思っています。今後も少しでもお役に立てればと願っています。

～学級サポーター（愛称;コミ担）活動報告！～

ＣＳ委員は全員が分担して、１年生４クラスの学級サポーター（愛称コミ担）となっています。また、学級サポーターには、ＣＳ委員のほかにも学校支援本部の方もいます。学級サポーター制度は、地域の支援者が各クラスの生徒、担任および保護者と多く接することで、生徒・保護者・教職員・ＣＳ・支援本部の連携強化を図ることを目的としています。どうぞよろしくお願いします。

- ○ 地域交流給食会参加
- ○ 保護者会全体会参加、１年学年保護者会参加
- ○ 運動会応援参加
- ○ １年グリーンアドベンチャー参加
- ○ １年道徳授業ゲストティーチャー参加　など・・

その他、日常の授業でもたまに教室にお邪魔しています。

１年地域交流給食（お花見給食）

運動会応援

Ｉ組交流給食

１年道徳授業

学級サポーター（コミ担）メンバー

２年社会人講座

１年グリーンアドベンチャー

レスキュー隊　震災救援訓練

＜ご協力のお願い＞

通常の学校評価アンケートにあわせて、井草中ではＣＳ独自で生徒対象のアンケートを行います。結果につきましては、後日報告をさせていただきます。

＜学校運営協議会の予定＞

１１月25日（水）午後６時半～、12月25日（金）午後６時～

（原則公開となっていますが、内容により一部非公開となります。）

学級サポーター（コミュニティ担任＝コミ担）制度要項

平成２１年９月１６日　井草中学校学校支援本部“○”

１，目的および位置づけ

１）　学級サポーター制度は地域運営学校である井草中学校の特色を活かすための制度であり、学級サポーター（以下コミ担）が、各学級の生徒、担任及び保護者と多く接することにより、学校・学級・生徒が直面している問題への理解を深めるとともに、学校との連携を強化することを目的とする。　〈＝生徒とＣＳ・“○”、ＣＳ・“○”と教員、ＣＳ・“○”と保護者が互いに顔の見える関係に〉

２）　コミ担は、学校運営協議会委員及び学校支援本部員がそれぞれ学級を担当し、本規約にある活動を行うものをいう。ただし、学校での活動に熱意があり、学校支援本部が認めた者については学校と協議のうえコミ担として活動を行うことができる。

３）　コミ担は、地域人材による学校サポーターであり、自主的に活動を行うが、学校は熱意ある地域人材がより意欲的・効果的に活動できるよう環境整備に努めるとともに、機会や情報などを提供していく。

２，活動の基本方針（優先順位順）

１）　コミ担は担当学級生徒を応援、激励するとともに「人と人との豊なふれあい」活動を支援する。

２）　コミ担は地域の一社会人としてゲストティーチャーとなり、中学生を社会人として育成する。

３）　コミ担は井草中学校の教員をサポートし、共に生徒の教育と未来を考え、学び合う。

４）　コミ担は井草中学校の生徒の保護者に対して家庭教育のよきアドバイザーとなる。

３，活動内容

１）　担当学級生徒の授業、行事、給食、学級活動などの教育活動の場を参観、あるいは参加する。

①　学校公開以外の参観・給食参加に関しては事前に副校長を通じて申し込む。

②　参加に関しては事前に授業者（学級担任・教科担任）と打ち合わせを行い、授業内容を理解したうえで社会人として参加する。授業内容により、「講演者」「コメンテーター」「聞き役」「対話の相手」「社会人マナー指導」など、さまざまな役割に応じて参加する。

２）　担当学級担任や学年の教員との交流の拡大および、生徒に役立つ意見交換等を行う。

①　学級経営、教科教育が学校経営方針や教育課程に基づくものであるという視点を持ってのぞむ。

②　生徒個々の状況、学級集団の状況について社会人として感じたことを伝える。

③　学級担任や教科担任の指導姿勢や指導方針についての理解を深める。

３）　保護者会、学年ＰＴＡ懇談会等では家庭教育のアドバイザーという立場で参加する。

①　子育ての先輩としてのアドバイスを中心に保護者をサポートする。

②　保護者の学校へのニーズは教員が直接受けることとするが、やむをえず情報を得た場合はその旨を伝えたうえで教員に引き継ぐ。

４，組織

１）　各学級６名以内のコミ担を置き、コミ担はコミ担連絡協議会に属する。

２）　コミ担は複数学級の兼任可とする。

３）　各学級のコミ担は学級代表コミ担を１名、互選で決定する。

４）　各学級の代表コミ担の中から、全体のコミ担連絡協議会代表を１名決定する。

５）　コミ担連絡協議会（代表）と学校側（生活指導主任・地域連携委員・学年主任・担任）はコミ担が関連する問題解決にあたる

５，　任期

１）コミ担の任期は該当年度４月１日より３月３１日までの１年間を基本とする。

２）年度ごとに学校、コミ担両者で協議し、両者の承諾のもとで更新し、あるいは新しく学校支援本部“○”において承認を得る。

６，留意事項（詳細は「べからず集」に掲載）

①　生徒とふれあう場面において、生徒の気持ちを考え、生徒が傷つく言動がないよう注意する。

②　生徒・教員・保護者との接点において、知り得た個人情報については学校外には流出させない。

③　あまり根拠のない不安やうわさ話などは収拾の方向で学校と協力する。

④　生徒・保護者との接点において、「担任の先生への不満」が出てくる場合、肯定的な表現は避ける。

⑤　保護者からの相談やうわさ話が学校批判や担任批判めいたものであるとき、すぐに学校と確認をとる。

⑥　学校、学級の情報をホットにキャッチする。

⑦　生徒の健全育成を理解し、コミ担制度を理解して協力できるサポーターの発掘に努力する。

７，規約に関すること

１）規約に反する場合は任期内でもコミ担＝学級サポーターの役割を解くことがある。

２）規約改正は学校支援本部“○”によって協議し決定される。

３）本規約は平成２１年９月１７日より施行される。